

## 令和2年度 公益財団法人大分県スポーツ協会第3回理事会

日時：令和3年1月13日（水）14：00～

場所：大分県庁舎新館14階大会議室

### 理 事

|       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 出席者   | 麻生 益直 | 工藤 利明 | 野見山裕治 | 加藤 寛章 | 阿部 方  |
| (24名) | 安部 亮  | 井上 倫明 | 衛藤 賢  | 佐藤 彰倫 | 土谷 忠昭 |
|       | 藤本 学  | 牧 和志  | 松本 悠輝 | 三好 正昭 | 足立 達哉 |
|       | 後藤 修二 | 後藤 博美 | 佐藤 好昭 | 末吉 新治 | 杉原 勉  |
|       | 中村 和好 | 牧野 新吾 | 真砂 昌史 | 渡邊 光廣 |       |

|      |       |       |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 欠席者  | 相馬 尊重 | 大場 俊二 | 神志那静清 | 竹井 信之 | 友岡 正春 |
| (5名) |       |       |       |       |       |

### 監 事

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 出席者  | 倉掛 賢裕 | 志賀 一哉 |
| (2名) |       |       |

資格確認 渡邊総務部長が出席理事24名で、定数の過半数であることから、定款第36条により、本会が成立することを報告した。

#### 1. 開会のことば

渡邊総務部長が開会のことばを述べた。

#### 2. あいさつ

公益財団法人大分県スポーツ協会会長 麻生益直があいさつを行った。以下挨拶。

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスの第3波により、例年とは違う年末・年始となりましたが、皆様方には、健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

さて、昨年のスポーツ界は、コロナ禍により日常のスポーツ活動の自粛や制限をはじめ、各種スポーツ大会が中止や延期となるなど、大きな影響を受けました。

こうした中ではありましたが、秋以降から徐々に開催されるようになり、陸上の兒玉芽生選手、水泳の渡辺一平選手、空手道の太田ひかる選手、ライフル射撃の磯部直樹選手や野畑美咲選手が日本一に輝くなど、素晴らしい活躍を見せてくれました。

また、年末・年始の高校スポーツでは、女子バレーの東九州龍谷高校が、今年も全国上位に進出しました。大会連覇とはならず3位という結果でしたが、その戦いぶりは、コロナ禍の中、県民に感動と元気を与えてくれるものでした。いよいよ、今月末から2月にかけては、第76回国民体育大会の先陣となる冬季大会が開催されます。冬季競技は、厳しい練習環境

の中での出場となりますが、「チーム大分」の誇りを持って臨んでいただきたいと思います。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックや国民体育大会、各種全国大会において、本県選手の躍動する姿が数多く見られることを大いに期待しています。

本会も、スポーツ協会への名称変更やロゴマークの選定、ホームページのリニューアルなど、ブランド力を高めるための広報活動を行いながら、積極的に各種事業に取り組みたいと考えておりますので、引き続き、皆様方の御協力をお願いいたします。

結びに、本日は、補正予算や表彰関係等について御協議いただきます。時節柄、できるだけ短時間で終了したいと考えておりますが、皆様には、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げ挨拶といたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

議長選出 以下、進行の渡邊総務部長の説明

理事会規程第6条では、「理事会の議長は会長がこれにあたる」となっていますので麻生会長に議長をお願いいたします。

また、議事録署名につきましては、定款第37条に「出席した会長・副会長及び監事は議事録に記名押印する」となっておりますので、その旨よろしくお願いいたします。

以下、議長による進行。

### 3. 議事

議案1 令和2年度第2次補正予算について

議案2 国民体育大会及び九州ブロック大会の大分県代表団の決定について

議案3 令和2年度大分県スポーツ協会表彰について

#### 【議案1 令和2年度第2次補正予算について】

伊藤事務局長が上記事項について説明。以下説明事項。

令和2年度第2次補正予算について説明いたします。レジュメは2ページからとなります。

今年度の予算につきましては、前回第2回理事会において、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う第1次補正予算を承認していただきました。今回の第2次補正予算は、すでに予算執行を終えている事業及び第1次補正予算編成後の情勢に対応するために御提案するものでございます。

本会の会計は、公益法人会計として、大分県スポーツ振興事業、大分県スポーツ少年団事業、大分県スポーツ普及・表彰事業の公益3事業の会計と、事務局運営に係る法人会計の4会計からなっています。それぞれの会計ごとの資料は、4ページから7ページにかけて詳細に記載していますが、わかりやすくするために、3ページのA3概要版を使って説明させていただきます。恐れ入りますが、レジュメの方向を変えていただきまして御覧ください。

補正前予算額・補正額・補正後予算額の角カッコは大科目、丸カッコは中科目、カッコが

ないのが小科目の金額となっています。また、表の両端の小さな数字は行数を示しています。

まず、一般正味財産増減の部の経常収益、いわゆる収入の部です。はじめに9行目、スポーツ少年団登録料ですが、補正前予算額646万円に対しまして、95万7千円増額、補正後予算額741万7千円でございます。これは、登録指導者・団員合わせて1,417名の増数によるものです。

次に11行目の受取補助金等ですが、補正前予算額2億5千967万8千円に対しまして、1億3千373万6千円減額、補正後予算額1億2千594万2千円でございます。これは、国民体育大会、九州ブロック大会、県内一周駅伝、都道府県対抗駅伝大会が中止になったためです。

次に15行目の受取民間補助金ですが、補正前予算額133万4千円に対しまして、150万円増額、補正後予算額283万4千円でございます。これは、日本スポーツ協会の「スポーツ活動継続サポート事業補助金」による増額です。こちらは、新型コロナウイルス拡大の影響により、活動自粛を余儀なくされた団体に対しての事業で、本会も事業継続・高度化計画を申請し、昨年12月に交付決定されたものです。

次に23行目、受取民間助成金ですが、補正前予算額89万5千円に対しまして、89万5千円減額、補正後予算額0円でございます。これは、スポーツ少年団駅伝交流大会中止に伴い、スポーツ振興助成金申請を取り下げたことによるものです。

次に24行目、受取負担金ですが、補正前予算額121万円に対しまして、66万8千円減額、補正後予算額54万2千円でございます。これは、各種大会・研修会の中止など実態に応じて補正するものです。

40行目、経常収益計ですが、補正前予算額2億8千950万3千円に対しまして、1億3千282万8千円減額の補正後予算額は1億5千667万5千円となります。

次に経常費用、いわゆる支出の部でございます。42行目、大分県スポーツ振興事業ですが、補正前予算額2億5千558万2千円に対しまして、1億3千416万6千円減額の補正後予算額は1億2千141万6千円となります。これは国民体育大会等の中止によるものです。

53行目、大分県スポーツ少年団事業ですが、補正前予算額458万4千円に対しまして、244万9千円減額の補正後予算額は213万5千円となります。これは経常収益と同じ理由により、減額補正となっています。

64行目の上記3事業の事業管理費につきましては、補正前予算額2千147万円に対しまして、74万3千円増額、補正後予算額は2千221万3千円でございます。併せて、66行目、法人会計管理費ですが、補正前予算額690万4千円に対しまして、8千円減額、補正後予算額は689万6千円でございます。両科目の内、減額となる内訳は、旅費交通費50万3千円、増額となる内訳は、スポーツ少年団登録者数の増数による、日本スポーツ少年団本部への支払い負担金68万1千円、日本スポーツ協会「スポーツ活動継続サポート事業補助金」による環境整備費55万2千円でございます。

67行目、経常費用計ですが、補正前予算額2億9千87万2千円に対しまして、1億3千583万1千円減額の補正後予算額は1億5千504万1千円となります。

続いて73行目、当期経常増減額計ですが、補正前予算額マイナス136万9千円に対し

まして、３００万３千円増の１６３万４千円の補正後予算額となり、この額が黒字見込額となります。

最終行、正味財産期末残高ですが、補正前予算額３千５８４万３千９９０円に対しまして、３００万３千円増額の補正後予算額３千８８４万６千９９０円となります。

今回、黒字見込みとなった要因は、経常収益の項では、スポーツ少年団登録料の増額、日本スポーツ協会「スポーツ活動継続サポート事業補助金」による増額です。経常費用の項では、スポーツ少年団各種大会中止に伴う減額、県内一周駅伝等大会中止による支払い補助金の減額、会議中止に伴う旅費交通費の減額が主な要因です。

第１次補正予算で計上しましたデジタル化費用に併せ、日本スポーツ協会「スポーツ活動継続サポート事業補助金」により、ホームページのリニューアルや電話通信システムを導入することができ、ブランド力向上並びに在宅勤務などに備え、環境整備を進めることができました。しかし、現時点で計上できませんでしたが、賛助会員の加入状況が、例年に比べ減数が見込まれるなど、更なる減収も想定されますので、今後もコスト意識を持って取り組んで参ります。

以上で令和２年度第２次補正予算の説明を終わります。御審議お願いいたします。

（麻生議長が、議案１についての質問・意見を議場に諮ったが、特になかった。）

《上記の説明を踏まえ、麻生議長が議案１を議場へ諮ったところ全会一致で承認された》

#### 【議案２ 国民体育大会及び九州ブロック大会の大分県選手団の決定について】

伊藤事務局長が上記事項について説明。以下説明事項。

国民体育大会及び九州ブロック大会の大分県代表団の決定について、説明いたします。レジュメは８ページからとなります。

始めに、代表団の参加申込みと決定までの流れをご説明いたします。国民体育大会及び九州ブロック大会の大分県代表団の参加申込は、競技団体により選考された選手を、本会事務局で当該大会の参加資格と照合したのち、会長承認を得て参加申込をしていました。代表団の決定については、これまで理事会決議事項として取り扱っていたため、参加申込後に開催される理事会で、代表団を事後承認していた経緯がございます。

しかしながら、参加申込日と理事会承認日の時系列が前後していること、九州各県の現状についても、１県を除いて理事会決議事項としていないことから、公益法人に関する専門家からの意見も踏まえ、国民体育大会及び九州ブロック大会の大分県代表団の決定について、次のように御提案いたします。

国民体育大会及び九州ブロック大会の大分県代表団の決定は、理事会における議決ではなく、専務理事決裁とする。

提案理由は、大分県代表団の決定については、当該競技団体の選考規程に則って選考され、各競技団体会長が代表として認めた者である。

定款及び理事会規程において、理事会での決議事項として挙げられていない。

理事会での議決が必要となると、すべての大会前に理事会を開催する必要がある。

以上が、国民体育大会及び九州ブロック大会の大分県代表団の決定についての説明でございます。御審議お願いいたします。

(麻生議長が、議案2についての質問・意見を議場に諮ったが、特になかった。)

《上記の説明を踏まえ、麻生議長が議案2を議場へ諮ったところ全会一致で承認された》

### 【議案3 令和2年度大分県スポーツ協会表彰について】

伊藤事務局長が上記事項について説明。以下説明事項。

令和2年度大分県スポーツ協会表彰について、説明いたします。レジュメは10ページからとなります。

この表彰は、学校・地域または職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、本県スポーツの振興に著しい成果をあげた個人及び団体を表彰するもので、2月5日金曜日15時からホテル日航大分オアシスタワーで表彰式を開催するものでございます。

続いて、28ページをお開き下さい。表彰規程につきましては、第4条にございますが、表彰の種類は「スポーツ功労者及び団体」、「スポーツ優良生徒」、「生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体」の3種類でございます。なお、「スポーツ功労者及び団体」につきましては、個人、団体、指導者の3部門になっております。推薦基準につきましては記載のとおりでございます。

また、審査及び決定につきましては、第2条にございますように、本会の加盟団体及び本会が推薦する個人・団体を本理事会において審査し決定するものです。

29ページには、第2回理事会でご承認いただきましたスポーツ優良生徒の特例措置を掲載しています。

10ページにお戻りください。本年度の候補者及び候補団体の総数ですが、スポーツ功労者及び団体では、個人の部は16名、団体の部は1団体でございます。

スポーツ優良生徒では、中学生の部では227名、高校生の部では257名でございます。生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体では、生涯スポーツ功労者は3名、生涯スポーツ優良団体は6団体でございます。

次に各部門別の候補者でございます。レジュメ11ページからです。

最初に、スポーツ功労者個人の部16名でございます。一人一人の紹介は省略させていただきますが、競技別人数の内訳は、水泳2名、陸上3名、フェンシング4名、アーチェリー1名、空手道1名、ライフル射撃3名、カヌー2名となっています。

団体の部は、令和元年度第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会で優勝した東九州龍谷高校バレーボール部の1団体となっています。

次に、レジュメ12ページ、スポーツ優良生徒です。

まず中学生の部ですが、県中体連から推薦のありました候補者を学校別一覧にしています。51校から男子142名、女子85名、計227名でございます。

13ページから17ページにかけて競技別の候補者を掲載しています。候補者名、所属、成績等については記載の通りです。

18ページをお開きください。次に高校生の部ですが、県高体連、県高野連から推薦のありました候補者を学校別一覧にしています。28校から男子154名、女子103名、合計257名でございます。

19ページから26ページにかけて競技別の候補者を掲載しています。候補者名、所属、成績等については記載の通りです。

27ページ、生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体の候補者・団体を掲載しています。功労者3名、優良団体6団体でございます。候補者名、所属、功績・活動実績については記載の通りです。

以上、いずれの表彰も推薦基準を満たしておりますことを報告させていただきます。なお、例年のことですが、本理事会終了後に追加申請がある可能性がございます。その場合には、推薦基準を満たしているか否かを事務局で審査し、会長承認とさせていただきたいと思っておりますので、このことも併せまして御審議をお願いいたします。

(麻生議長が、議案2についての質問・意見を議場に諮った。)

#### 麻生議長

例年に比べるとかなりスポーツ功労者の数が激減しているという状況ですが、表彰式は予定通り、2月5日に開催するということでよろしいでしょうか。

#### 伊藤事務局長

現時点では開催する予定でございます。

御参集の皆様におかれましては、この後、御案内させていただきます。

《上記の事項を踏まえ、麻生議長が議案3を議場へ諮ったところ全会一致で承認された。》

#### 4. 報告・説明事項

- (1) 第40回九州ブロック大会冬季大会アイスホッケー競技成績について
- (2) 第76回国民体育大会冬季大会大分県代表団について
- (3) 令和2年度事業報告について(令和2年度第2回理事会以降)
- (4) 全国表彰受賞者について
- (5) 各種大会成績について(令和2年度第2回理事会以降)
- (6) スポーツ団体ガバナンスコードについて

【報告・説明事項(1)第40回九州ブロック大会冬季大会アイスホッケー競技成績について】

伊藤事務局長が上記事項について説明。以下説明事項。

4の報告・説明事項(1)の第40回九州ブロック大会冬季大会アイスホッケー競技成績について説明いたします。30ページをお開きください。

本年1月27日から開催される第76回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会の出場権をかけて、九州ブロック大会が昨年(2020)の12月12日に福岡県立総合プールのスケートリンクで開催されました。本県は成年男子種別に出場し、初戦、熊本県と対戦いたしました。結果は御覧のとおり、1対6で敗退し代表権の獲得には至りませんでした。

また、31ページには選手団名簿を掲載しています。

以上で第40回九州ブロック大会冬季大会アイスホッケー競技成績についての説明を終わります。

(麻生議長が報告・説明事項(1)についての質問を議場に諮ったが、特になかった。)

【報告・説明事項(2) 第76回国民体育大会冬季大会大分県代表团について】

伊藤事務局長が上記事項について説明。以下説明事項。

第76回国民体育大会冬季大会大分県代表团について説明いたします。32ページをお開きください。

スケート競技会 ショートトラック競技は、1月30日から愛知県名古屋市で、スキー競技会は、2月18日から秋田県鹿角市で開催されます。

本部役員といたしまして、団長に玉田輝義・県スキー連盟会長、副団長に麻生純二・県スキー連盟副会長、同じく副団長に三宅文子・県スケート連盟理事長、総監督に加藤寛章・本会専務理事、ほか総務員は2名でございます。

監督、選手につきましては記載のとおりで、スケート競技は監督1名、選手1名、スキー競技は監督3名、選手11名でございます。

また、昨日政府が愛知県に対し緊急事態宣言を再発令することで調整に入ったことにより、日本スポーツ協会から、都道府県選手団の派遣に関する調査依頼がありました。該当競技団体、監督・選手並びに勤務先所属長と協議を行い、今後慎重に判断して参りたいと考えています。

以上で第76回国民体育大会冬季大会大分県代表团についての説明を終わります。

(麻生議長が報告・説明事項(2)についての質問を議場に諮ったが、特になかった。)

【報告・説明事項(3) 令和2年度事業報告について(令和2年度第2回理事会以降)】

伊藤事務局長が上記事項について説明。以下説明事項。

(3) 令和2年度事業報告ですが、第2回理事会以降の事業について主なものを抜粋して説明いたします。

33ページNo.1、8月22日から優秀指定選手メディカルチェック、採血による貧血・栄養検査の検査結果説明会を行いました。今年度は、17競技団体、300名を対象に採血に

による検査を実施し、医科学委員会メディカルサポート部会の松田貴雄ドクターが各チームを訪問し、今後の対策・改善について結果説明をいたしました。

No.9、大分県スポーツ少年団スポーツ外傷・傷害防止研修会ですが、これまで年6回にわたり開催していましたが、感染症対策の観点から、本年は講義時間を短縮し、1日のみの開催といたしました。外傷・傷害防止について必要な知識を、医科学委員会研修部会の皆様方から御講義いただきました。

No.11、10月24日・25日に大分県スポーツ少年団大会を開催し、団員間の交流を深めました。

34ページNo.17、11月7日にガバナンス研修会を開催しました。講師に日本スポーツ協会の岩田総務部長をお迎えし、加盟団体役員、スポーツ少年団関係者、本会事務局職員に加え、今年度より本会役員の方々にも参加いただきました。

No.18、11月14日・15日に大分県スポーツ少年団ジュニアリーダースクールを開催し、参加した16名の団員に日本スポーツ少年団ジュニアリーダーの資格を認定しました。

No.19、11月14日～23日にかけて日本スポーツ協会の委託事業であります「ドーピング防止研修会」を本会ホームページ内のYouTube動画配信により開催しました。動画配信は初めての試みでありましたが、参加者からも好評であることから、今後もWEBでの開催を検討していきたいと考えています。

その他の事業につきましては、記載の通りでございます。後刻、御確認ください。事業報告は以上でございます。

(麻生議長が報告・説明事項(3)についての質問を議場に諮ったが、特になかった。)

#### 【報告・説明事項(4) 全国表彰受賞者について】

伊藤事務局長が上記事項について説明。以下説明事項。

(4)の全国表彰受賞者について説明いたします。レジュメは35ページとなります。

まず、永年にわたりまして、体育・スポーツの振興・発展に功績のありました方に対する文部科学大臣表彰でございますが、本年度は、記載の3名・2団体の方が受賞されました。本会からの推薦はございませんでした。

次に、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰でございます。この表彰は資格取得後15年以上にわたり、スポーツの普及振興及び指導者育成等に尽力し、顕著な功績をあげた方々に対する表彰でございます。

受賞されましたのは、バレーボールコーチの木村由美さんです。

本年度、全国表彰を受賞されました方々にお喜び申し上げますとともに、今後ますますの御活躍をお祈り申し上げます。

(麻生議長が報告・説明事項(4)についての質問を議場に諮ったが、特になかった。)

#### 【報告・説明事項(5) 各種大会成績について(令和2年度第2回理事会以降)】

伊藤事務局長が上記事項について説明。以下説明事項。

(5)の各種大会成績について説明いたします。レジュメは36ページからとなります。  
本日は、全国優勝のチーム・個人を報告させていただきます。

36ページ、陸上競技、第89回日本学生陸上競技対抗選手権大会において、福岡大学の  
兒玉芽生選手が女子100m、200mで優勝、女子400mリレーで兒玉芽生選手、加藤  
汐織選手が優勝いたしました。また、第104回日本陸上競技選手権大会女子100mにお  
いて、兒玉芽生選手が優勝いたしました。

37ページ、陸上競技、全国高等学校陸上競技大会2020・U20全国陸上競技大会に  
おいて、中央大学の亀井桜選手がU20女子やり投げで優勝いたしました。

水泳競技、第96回日本学生選手権大会において、早稲田大学の田中大寛選手が200m  
自由形で優勝いたしました。

また、第62回日本選手権大会、第3回日本社会人選手権大会、第96回日本選手権大会  
において、トヨタ自動車の渡辺一平選手が男子200m平泳ぎでそれぞれ優勝いたしまし  
た。

39ページ、ライフル射撃競技、2020年度全日本ライフル射撃競技大会において、大  
分市役所の磯部直樹選手が男子50mライフル伏射60発で優勝、女子10mエアライフ  
ル60発で、由布高校の野畑美咲選手が優勝いたしました。

40ページ、カヌー競技、日本カヌースプリント選手権において、鹿屋体育大学の田中・  
岩永ペアが男子200mカナディアンペアで優勝いたしました。

41ページ、空手道競技、第48回全日本空手道選手権大会において、大分市消防局の大  
野ひかる選手が女子形で優勝いたしました。

その他の成績につきましては資料をもって報告とさせていただきます。

(麻生議長が報告・説明事項(5)についての質問を議場に諮ったが、特になかった。)

#### 【報告・説明事項(6) スポーツ団体ガバナンスコードについて】

伊藤事務局長が上記事項について説明。以下説明事項。

(6)のスポーツ団体ガバナンスコードについて説明いたします。レジュメは42ページ  
となります。

昨年度、スポーツ庁はスポーツ団体が適切な組織運営を行う上で遵守すべき原則・規範と  
なるガバナンスコードを策定し、日本スポーツ協会の加盟団体である都道府県体育・スポー  
ツ協会は、日本スポーツ協会加盟団体規程に基づき、中央競技団体向けガバナンスコードの  
遵守状況を今年度よりHP等で公表することになっています。現在事務局では、42ページ  
掲載の指定された17項目について、自己説明・公表するため準備を進めています。理事の  
皆様方には、第4回理事会で自己説明の内容について御審議していただく予定をしていま  
すのでお知らせ致します。

以上で報告・説明事項を終わります。

(麻生議長が報告・説明事項(6)についての質問を議場に諮ったが、特になかった。)

## 5. その他

- (1) 今後の事業計画について
- (2) ホームページのリニューアルについて
- (3) 今後の国体開催地について

### 【その他(1)～(3)について】

伊藤事務局長が上記事項について説明。以下説明事項。

今後の主な事業については、レジュメ43ページに掲載しています。新型コロナウイルス関連で、国民体育大会冬季大会結団壮行式や、大分県スポーツ少年団駅伝交流大会などの行事が中止となりましたので御確認ください。

続いて、(2) ホームページについてですが、第2回理事会で御承認いただき、本会ホームページを44ページの様にリニューアルいたしました。公式 YouTube チャンネルの開設やInstagramが投稿できるなど、デジタルコンテンツの充実を図り、小学生から利用しやすいホームページとなっています。また、リニューアルを広く周知するため、Instagram ハッシュタグ キャンペーンを現在開催しています。詳細についてはホームページに掲載していますので、御覧いただきますようお願い申し上げます。

続いて、レジュメ45ページを御覧下さい。今年度開催予定でありました、第75回国民体育大会鹿児島国体が、令和5年度に延期されたことにより、以降の開催県についても1年順送りとし、開催年を変更することが決定されましたのでお知らせ致します。

以上でその他の説明を終わります。

(麻生議長がその他(1)～(3)について質問を議場に諮ったが、特になかった。)

## 6. 閉会のことば

渡邊総務部長が閉会のことばを述べた。

令和3年1月13日

会 長      麻 生 益 直

副会長      工 藤 利 明

副会長      野見山 裕 治

監 事      倉 掛 賢 裕

監 事      志 賀 一 哉